



# 高水地協ニュース

連 合 長 野  
高水地域協議会

○ 発行責任者 荻原 公和

○ 編集責任者 上倉 龍行

〒383-0022 中野市中央 1 丁目 9-15 Tel.0269-23-0505 Fax.0269-38-0575

## 高水地協 2024 春季生活闘争開始宣言集会・学習会



荻原議長の音頭で参加全員による「2024 春闘高水地協団結して頑張ろう！」

2024 年 2 月 16 日（金）、中野市中央公民館 301 講堂において「2024 春季生活闘争開始宣言集会・学習会」を開催しました。今年も集会後の懇親会を行わないことから、平日の定時後開催としました。

集会は高水地協荻原議長の挨拶で始まり、連合長野根橋会長から、来賓挨拶の中で春闘情勢、能登地震の被災状況、連合の取り組みについてパワーポイントを用いて説明がありました。続いて長野県議会議員の小林東一郎議員から挨拶をいただき、連合長野小松事務局長から組合役員研修を兼ね 2024 春闘方針について講演をいただきました。加盟組織の単組報告では 2 組合の代表者から 2024 春闘の要求内容、組織の状況などの発表があり、他組織の報告については別冊にて配布し情報共有をはかりました。最後に「2024 春季生活闘争開始宣言集会宣言案」を採択し、参加者全員で 2024 春闘団結してガンバローと県総決起集会用のビデオメッセージを収録し、終了しました。

- 開催日時 2024 年 2 月 16 日（金）18 時 30 分
- 開催場所 中野市中央公民会館 301 講堂
- 出席者 56 名（18 組織）
- 内 容
  - 2024 春闘オルグ（組合役員研修）
  - 単組報告（春闘の要求内容、自組織の取り組み）
    - ・中部電力労働組合 安達支部長（幹事）
    - ・鈴木労働組合 須田書記長（幹事）
  - 2024 春闘開始宣言採択
    - ・野沢温泉村職員労働組合 嶋田敏英（副議長）



挨拶する荻原議長



冒頭の挨拶で荻原議長は、「昨年は 30 年ぶりに高い賃上げが実現したが、中小はその流れについていけない労組もあった。コロナ禍から中小の私鉄・バス関連事業に関しては、非常に厳しい状況が続いており、賃上げには及ばず定期昇給の確保に留まり、同業大手との格差は拡大した」と大手と中小企業の 2 極化した切実な現状を語りました。

連合長野・根橋美津人会長は春闘学習会の中で、「価格転嫁の環境整備を行い、すべての労働者に波及させる春闘の取り組みが重要」と述べ、小松事務局長は、“労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針”に触れ、「しっかりと労務費のための価格転嫁を促すよう、会社にも伝えていただきたい」と述べました。小林東一郎県議会議員の挨拶では、14 日に開会した長野県議会に触れ、「女性活躍戦略がまだまだ弱い。長野県の少子化対策に必要なことは、若年女性が進学後に帰ってこない状況を改善すること。若年層全体の賃金水準を魅力あるものに変えていくためにも、県内企業の賃上げは重要」と述べました。



挨拶する根橋会長



春闘要求案を説明する小松事務局長

## 基本的要求基準の考え方

経済のステージ転換を着実に進めるべく、すべての働く人の生活を持続的に向上させるマクロの観点と各産業の「底上げ」「底支え」「格差是正」の取り組み強化を促す観点から、昨年を上回る賃上げを目指す。賃上げ分を 3% 以上、定昇相当分（賃金カーブ維持相当分）を含め 5% 以上の賃上げを目安とする。

### 総額で 15,000 円以上を目安に賃金引き上げを求める

（内訳）

- 賃金カーブ維持相当分：5,200 円
- 賃金引上げ 3%：8,300 円  
（300 人未満平均賃金 273,481 円の 3%）
- 全体との格差是正分：1,500 円  
（賃金カーブ維持分の格差と平均賃金の格差を総合的勘案）



開始宣言を提案する嶋田副会長



激励挨拶する小林県議



司会：宮島事務局長



開会挨拶：荻原副議長



決意表明：安達幹事



決意表明：須田幹事



閉会挨拶：今溝副議長